

科目コード	N313
授業科目名	精神看護学方法論演習
授業科目名(英文)	Practice in Mental Health Nursing in Hospital Setting
講義室等	1105
学科	看護学科
対象学年	3年
開講学年	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	30
該当ディプロマ	◎看DP-2、看DP-4
学科	
対象学年	
開講学年	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
担当教員	児玉 豊彦
授業の概要	精神障がいをもつ個人およびその家族への看護過程展開のための枠組みについて学ぶ。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 精神障がいをもつ個人および家族を対象として、セルフケアモデルを用いて看護過程の展開ができる。 2. 精神障がい者の自立に向けた多職種間の連携やあり方について説明することができる。 3. 精神障がい者の地域生活支援の方法や仕組みについて説明することができる。
予習復習の所要時間	講義時間30時間(2時間×1コマ×15回)+予習・復習15時間
成績評価方法	参加の姿勢(30%)、筆記試験(70%)で60点以上を合格とする。
教科書	講義資料を授業にて配付する。
参考書	萱間真美・野田文隆編集「精神看護学I 精神保健・多職種のつながり改訂第2版」 ISBN-13: 978-4524257638 萱間真美・野田文隆編集「精神看護学II 臨床で活かすケア改訂第2版」 ISBN-13: 978-4524257645 田中美恵子編著「精神看護学 学生－患者のストーリーで綴る実習展開」(医歯薬出版) ISBN-13: 978-4263236734 宇佐美しおり他、Patricia Underwood「オレムのセルフケアモデル事例を用いた看護過程の展開」(ヌーヴェルヒロカワ) ISBN-13: 978-4902085570
その他	

非常勤講師(学内：1 学外：2)

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R4.4.5	火	IV	オリエンテーション これまでに学んだことの整理	講義	児玉 豊彦		
				予習 これまでに学んだ精神看護の知識を整理しておく		高木 幸子		
				復習 国家試験の精神科領域の過去問に目を通す				
2	R4.4.12	火	I	精神看護における患者-看護師関係	講義	児玉 豊彦		
				予習 精神科における患者-看護師関係について調べておく		高木 幸子		
				復習 患者-看護師関係に必要な要素をまとめる				
3	R4.4.12	火	IV	精神看護における治療的コミュニケーション	講義・グループワーク	児玉 豊彦		
				予習 コミュニケーションの技法について調べておく		高木 幸子	2	
				復習 自分の体験をプロセスレコードで振り返る				
4	R4.4.19	火	I	精神看護における治療的コミュニケーション	講義・演習	児玉 豊彦		
				予習 精神疾患患者のコミュニケーションの特徴を調べておく		高木 幸子		
				復習 患者とのコミュニケーションの留意事項をまとめる				
5	R4.5.10	火	I	精神看護における治療的コミュニケーション	講義・グループワーク	児玉 豊彦		
				予習 コミュニケーションの技法について調べておく		高木 幸子		
				復習 自分の体験をプロセスレコードで振り返る				
6	R4.5.17	火	I	精神科医療におけるチーム医療～地域での支援の実際～	講義・グループワーク	片岡 大貴	2	
				予習 精神科医療における他職種の役割を調べておく		高田 俊彦	2	
				復習 精神保健の地域連携についてまとめる				
7	R4.5.24	火	I	精神看護における治療的コミュニケーション	講義・演習	児玉 豊彦		
				予習 患者の状態や症状に合わせたコミュニケーションについて調べておく		高木 幸子		
				復習 自分のコミュニケーションの傾向をまとめる				
8	R4.5.31	火	I	精神看護におけるアセスメント	講義・演習	児玉 豊彦		
				予習 セルフケアに基づいたアセスメントの視点を調べておく		高木 幸子		
				復習 セルフケア理論のアセスメント項目と内容をまとめる				
9	R4.6.7	火	I	精神看護におけるアセスメント	講義・演習	児玉 豊彦		
				予習 精神症状の捉え方について調べておく		高木 幸子		
				復習 症状以外のアセスメント内容についてまとめる				
10	R4.6.14	火	I	様々な症状、状況における事例検討の発表	発表	児玉 豊彦		
				予習 発表の準備をしておく		高木 幸子		
				復習 他のグループの発表資料を熟読する				

非常勤講師(学内：1 学外：2)

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
11	R4.6.21	火	I	様々な症状、状況における事例検討の発表	発表	児玉 豊彦		
				予習 発表の準備をしておく		高木 幸子		
				復習 他のグループの発表資料を熟読する				
12	R4.6.28	火	I	精神疾患患者の事例の分析と発表(統合失調症)	グループワーク・発表	児玉 豊彦		
				予習 グループワークと発表の準備をしておく		高木 幸子		
				復習 統合失調症の症状と看護ケアをまとめる				
13	R4.7.5	火	I	精神疾患患者の事例の分析と発表(統合失調症)	グループワーク・発表	児玉 豊彦		
				予習 グループワークと発表の準備をしておく		高木 幸子		
				復習 他のグループの発表資料を熟読する				
14	R4.7.12	火	I	精神疾患患者の事例の分析と発表(気分障がい)	グループワーク・発表	児玉 豊彦		
				予習 グループワークと発表の準備をしておく		高木 幸子		
				復習 気分障がいの症状と看護ケアをまとめる				
15	R4.7.19	火	I	精神疾患患者の事例の分析と発表(気分障がい)	グループワーク・発表	児玉 豊彦		
				予習 グループワークと発表の準備をしておく		高木 幸子		
				復習 他のグループの発表資料を熟読する				